

①松倉川河口沖 水質検査結果

調査・分析項目		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)		平成30年度 (2018年度)		令和元年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)		基準値					
		数値	評価	数値	評価	数値	評価	数値	評価	数値	評価	数値	評価	数値	評価	数値	評価	数値	評価	数値	評価						
概況調査	採取年月日	-		H28.11.2		H29.12.14		H30.10.25		R1.11.26		R2.12.13		R3.11.30		R4.11.11		R5.8.19		R5.11.16		R6.11.28		R7.12.24			
	時刻	-		8:54		8:15		6:29		7:49		8:01		8:05		7:50		6:56		8:44		9:05		8:45			
	気温	°C		4.8		1.7		9.4		0.8		2.1		6.2		4.5		22.6		12.8		6		5.6			
	水温	°C		11.9		11.1		17.5		10.7		13.7		11.9		12.6		26.0		8.3		12.2		9.2			
	色相	-		無色		無色		無色		無色		無色		無色		無色		無色		無色		無色		無色			
	臭気	-		無臭		無臭		無臭		無臭		無臭		無臭		無臭		無臭		無臭		無臭		無臭			
	透明度	m		11.5		11.5		8.5		11.5		14.0		10.4		10.6		8.0		10.0		7.7		10.9			
	水深	m		11.5		11.5		12.6		12.4		14.0		10.4		10.6		10.0		10.0		12.0		10.9			
検査項目	pH	-		8.0		8.0		8.1		8.0		8.1		8.0		8.0		-		7.8		8.0		7.9		7.8~8.3	…A
	DO(溶存酸素量)	mg/l		7.9		8.7		8.1		8.9		8.2		9.3		9.1		-		9		9.3		8.6		7.5以上	…A
	COD(化学的酸素要求量)	mg/l		0.6		1.3		0.9		1.2		2.0		2.6	○	2.0		-		1.8		2.8	○	0.9		2.0以下	…A
	全窒素	mg/l		0.35	○	0.15		0.11		0.17		0.15		0.19		1.20	○	0.24		0.30		0.31	○	0.25		0.3以下	…B
	アンモニア性窒素	mg/l		0.05未満		0.05未満		0.05未満		0.05未満		0.05未満		0.06	○	0.17	○	0.08	○	0.18	○	0.05未満		0.05	○	0.03以下	…B
	亜硝酸性窒素	mg/l		0.01未満		0.01未満		0.01未満		0.01未満		0.01未満		0.01未満		0.01未満		-		0.01未満		0.01未満		0.01		0.06以下	…B
	硝酸性窒素	mg/l		0.21		0.07		0.01		0.07		0.04		0.10		0.98		-		0.09		0.12		0.15		7.0以下	…B
	全リン	mg/l		0.036	○	0.019		0.011		0.020		0.019		0.014		0.006		-		0.013		0.016		0.018		0.03以下	…B
	リン酸態リン	mg/l		0.003未満		0.003未満		0.003		0.003未満		0.007		0.003未満		0.003		-		0.005		0.006		0.005		0.02程度	…C
	塩分	%		28.53		32.59		32.94		30.97		33.71		26.55		24.45		-		26.08		29.69		25.81		-	
大腸菌群数	MPN/100ml		1.8未満		230.0		170.0		110.0		33.0		230.0		330.0		-		460.0		1.8未満		1,700	○	1,000以下	…B	

※評価は基準値を超えているもの(下回っているもの)について、○印を記載

令和5年度は、前年度の全窒素において基準値を超えていたため、例年の採取時期の3か月程度前に全窒素とアンモニア性窒素の追加測定を行った。

※基準値の凡例

A 水質汚濁に関する環境基準

B (公社)日本水産資源保護協会の水産用水基準

C リン酸態リンに関しては、明確な基準値がないため、国土交通省が発表している「河川水質試験方法」による海の富栄養化の目安となる数値を準用